

研究に関する公開情報

公立陶生病院 では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。この研究では通常の診療で得られた過去の情報を使用します。本研究に診療情報を使用されることを望まない方は、下のお問い合わせ先に申し出ただけましたら、その方の診療情報を収集することはありません。お申し出になられても、診療を受ける上で不利益を被ることはございませんのでご安心ください。また、この研究は当院のみで実施されます。

【研究課題名】 入院を要した高齢者結核の長期予後に関する多施設疫学的調査

【当院研究責任者】 部署名 感染制御部 氏名 梅村拓巳

【研究の背景】 かつては罹患者数も死亡数も日本の 1 位だった結核は、世界でも低蔓延の国の一つとなりました、しかし高齢者の方はまだ結核になる方が多く、その方々の長期的なフォローアップでの予後の調査を行います。

【研究の目的】 少子高齢化が進む我が国は世界でも結核患者の高齢者率が群を抜いて高く、結核患者の死亡率は高齢者だけに限ると 30%前後となります。結核は一般的に 6-9 ヶ月の長期的な治療を要する疾患であり、通常入院加療中に治療が完遂する事はないため、退院後の予後に関しては報告が少ないですが、実際には保健所により 2 年間のフォローアップがなされております。ですが長期予後についての評価は少ないため、今回、地域の管轄保健所（瀬戸・春日井・江南）の協力を得て入院された高齢の結核患者さんについての予後を評価する事を目的として研究を行いました。

■研究の対象となる方

2014 年 1 月から 2023 年 12 月に公立陶生病院および慶應義塾大学病院に入院された結核患者さんで 65 歳以上の方。軽快されて退院された方は退院後の保健所によるフォローアップを受けている方。

■ご協力頂く内容

上記期間に診療上得られた検査データと、診療録に記録された診療情報(年齢、性別、身体所見、症状、採血検査、画像検査、生活環境、治療内容、治療経過など)を研究に使用させていただきます。それらの使用に際しては、研究代表者がこれを管理し、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されることはございません。診療以外での採血など、患者さんに新たに負担頂くことはございません。

■研究組織

この研究は、慶應義塾大学病院との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機関内で利用されることがあります。

■個人情報に関して

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則った形でご覧頂くことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

■お問い合わせ先 公立陶生病院 電話番号 0561-82-5101 FAX : 0561-82-9139

研究代表者 感染制御部 梅村拓巳